

日本キルギス ビジネスフォーラム

キルギス共和国への投資促進に向けた
EBRDの活動について

2009年2月25日

EBRDビシュケク事務所長
中沢賢治



欧州復興開発銀行 (EBRD) の概要

- 1991年設立
- 加盟61ヶ国及び欧州共同体 (European Community) と欧州投資銀行 (EIB) が出資する国際金融機関
- 中・東欧、中央アジア、ロシア、ウクライナ、コーカサス地域など30ヶ国(*)における市場経済への移行を促進

(*) 2007年末にチェコ共和国は支援対象国から外れたが、株主として継続。2008年10月にトルコ共和国が支援対象国となった。



EBRDのプロジェクトファイナンスの原則

- 市場経済への体制移行の促進に向けて、活動対象国の経済に好影響を及ぼすこと。
- 民間金融機関からの投融資だけでは賄えないプロジェクトを対象。
- 持続可能性と環境を考慮。
- 投融資の健全性の原則: 民間セクターの基準に沿った融資条件。



キルギス共和国におけるEBRDの活動

- EBRDは2008年に7件の民間プロジェクト(総額1100万ユーロ)を支援。金融、農産物加工、建材、不動産など。
- 金融セクターへの支援(地元銀行ならびにマイクロ金融機関への投融資)はキルギスにおける活動全体の約7割。
- キルギス共和国はETC イニシャチブの支援対象国。
- 中小・マイクロ企業への支援、金融へのアクセス改善、ビジネス環境整備、基礎的インフラ整備(基幹道路、上水道他)が優先課題。



EBRD キルギス共和国カントリーストラテジー (2007年7月)

- 民間セクターの支援: 農産物加工業、不動産開発、観光事業、天然資源、消費者サービス業への投融資を通じて経済の多角化を支援。中小・マイクロ企業支援のためのファイナンスプログラムを拡大。
- 金融セクターの強化: 地元商業銀行への投融資を通じてその経営基盤強化、金融サービスの多様化を支援。
- 基幹インフラ整備: 電気事業、ガス事業、公共サービス事業(上下水道、ゴミ処理、熱供給, 都市交通)。
- 政策提言: EBRDは投資環境の整備に向けて政府と民間企業の対話を促進。



キルギス経済の直面する課題

- 世界的な金融危機の後でのキルギス経済の安定化。
- 深刻なエネルギー危機への取り組み。
- 企業経営の公開とガバナンスの改善は投資拡大の前提条件(国有セクターへの投資促進)。競争入札、ライセンスの取り扱いのルール確立、既存手続きの簡素化(天然資源開発事業)。
- 公共事業の規制システムの整備、料金制度の改善 (エネルギー危機対策として民間資本と経営ノウハウの導入が最重要課題)。
- 金融セクターの基盤強化、中央銀行による規制ルールの確立により中立性を確保。マイクロ金融機関(ノンバンク)の継続的な発展は地方経済活性化のために重要。



EBRD 2009年の活動方針

- マイクロ・中小企業支援のファイナンスプログラムと、地元銀行との協調融資(MCFF)を拡大することにより、世界的な金融危機のキルギス経済への波及効果を緩和。
- 農産品加工業を中心に 直接融資(DLF)・直接投資(DIF)ファシリテイを通じて優良地元企業を支援。
- オシュ・イスファナ道路整備(世銀グラントとの協調融資)、ビシュケク上水道整備(スイス政府グラントとの協調融資)など最優先インフラ・プロジェクト支援。
- キルギス投資評議会への支援継続を通じて投資環境改善に向け政府と民間投資家の政策対話を促進。



EBRDと日本

- 日本はEBRDの最大の株主の一つ。2008年9月時点でEBRD資本の8.6%を保有。
- 日本の投資家は継続的にEBRDの資金調達において重要な役割を果たしてきている。
- EBRDの支援対象地域において、日本企業は投資に際し、ますますEBRDとの協力を深めてきている。



日本・欧州協力基金 (JECF)

- JECF は支援対象地域全体においてEBRD の活動を支援。特に中央アジア、ロシア極東地域、体制移行の初期段階にある国々におけるプロジェクトに貢献。
- JECF は、EBRD による投融資に直接関係しない案件にも多大な支援。体制移行の過程で最重要な分野にターゲットを絞りながら、中小零細企業への助言、法規制環境の整備、制度改革などを支援。
- 独立型技術支援案件の代表的なものがTAMプログラムとBAS プログラム。これらはEBRDの投融資に直接関連するものではなく、企業が市場経済のニーズに対応できるよう産業別に助言を提供。



BAS TAM プログラム

- ビジネス・アドバイス・サービス (BAS) プログラムは、中小零細企業と協力して各社のビジネス・ニーズを明確化。地元コンサルタントを活用し育成。
- マーケティング、財務管理、品質管理システム、戦略的事業計画を改善できるよう支援。
- ターンアラウンド・マネジメント (TAM) プログラム) は、中小企業が上級管理職レベルで新たなビジネス・スキル開発できるよう支援。
- 経験豊富な専門家が、直接現地の中小企業の経営慣行の近代化や生産性および環境基準の向上を支援。これまでに、48人の日本人アドバイザーがJECF の支援する TAM プロジェクトに従事。



EBRD連絡先(日本語メールのあて先)

- 中央アジア局長 本間勝
HonmaM@ebrd.com
- 協調融資部 マネジャー 綾純子
AyaJ@ebrd.com
- ビシュケク事務所長 中沢賢治
NakazawK@ebrd.com

